学校番号	３０２６

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　「新家庭基礎 気づく力 築く未来」　（実教出版）						
副教材等	新家庭基礎（気づく力築く未来）学習ノート（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校時代は、今まで生きてきた個々の成長過程の中で、つちかわれた人間としての基本的生活習慣を改めて見直すもっとも大切な時期です。さまざまな能力を身につけ自立し、色々な人生観や価値観があることを認め、尊重又かつ共生していくことが大切と考えます。さらに生涯生きていく上で必要な知識と技術を身につけるために学ぶ教科です。机上の理論として表面的に理解するのではなく、すべて自分のこととして主体的に捉え、授業や課題に取り組み、実践するように心がけてください。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

（3）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭・福祉 ・衣食住・消費生活、その他について、関心を持ち、その充実向上を目指し、主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭・福祉 ・衣食住・消費生活、その他について、生活の充実向上を図るための課題を見い出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫創造する力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭・福祉 ・衣食住・消費生活、その他に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、生活において実践している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	【A】①生涯の生活設計	①自分の将来を見直そう	a:人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解するとともに、自立した生活を営むために、生涯を見通して、生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めること。 b:生活の営みに必要な金銭、生活時間などの生活資源について理解し情報の収集・整理が適切にできること。 C:生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察するとともに、生活資源を活用して生活設計を工夫すること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察
	②青年期の自立と家族・家庭	①これからの人生に向かって ②家族・家庭とは何だろう？ ③これからの家庭生活と社会	a: 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解するとともに、青年期の課題である自立や男女の平等と協力、意思決定の重要性について理解を深めること。 b: 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭と法律、家庭生活と福祉などについて理解するとともに、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わり、家族・ 家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めること。 c: 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することや、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察すること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察

1	③子供の生活と保育	①子どもの成長を見つめる ②子どもの生活と保育 ③これからの子育て環境	a：乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深め、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けること。 b：子供を取り巻く社会環境の変化や課題及び子供の福祉について理解を深めること。 c：子供を生み育てることの意義や、保育の重要性について考え、子供の健やかな発達を支えるために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性を考察するとともに、子供との適切な関わり方を工夫すること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察
	④高齢期の生活と福祉	①高齢期ってどういう時期？ ②高齢化する日本を生きる	a：高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けること。 b：高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について理解を深めること。 c： 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察し、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫すること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察
2	⑤共生社会と福祉	①共生とは？ ②ノーマライゼーションとは	a：生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解すること。 b：家庭と地域との関わりについて理解するとともに、高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義について理解を深めること。 c：家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について考察し、様々な人々との関わり方を工夫すること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察

	【B】①食生活	①「食べる」ということ ②私たちが食べているもの ③安全に食べるため ④健康に食べるために ⑤おいしく食べるために ⑥ずっと食事を楽しむために	a：食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解すること。 b：ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴、食品の栄養的特質、健康 や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 c：おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察
2	②衣生活	①衣服のはたらき ②衣服ができるまで ③衣服の計画と管理 ④これからの衣生活	a：衣生活を取り巻く課題、日本と世界の衣文化など、被服と人との関わりについて理解を深めること。 b：ライフステージの特徴や課題に着目し、身体特性と被服の機能及び着装について理解するとともに、健康と安全、環境に配慮した自己と家族の衣生活の計画・管理に必要な情報の収集・整理ができること。 c：被服材料、被服構成、被服製作、被服衛生及び被服管理について科学的に理解し、衣生活の自立に必要な技能を身に付けること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察
	③住生活	①「住まい」とは ②安全な住まい ③快適な住まい ④住まいの課題と未来の暮らし	a：住生活を取り巻く課題、日本と世界の住文化など、住まいと人との関わりについて理解を深めること。 b：ライフステージの特徴や課題に着目し、住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について科学的に理解し、住生活の計画・管理に必要な技能を身に付けること。 c：家族の生活やライフスタイルに応じた持続可能な住居の計画について理解し、快適で安全な住空間を計画するために必要な情報を収集・整理できること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察

3	【C】編経済計画	①　家計とお金の管理を考えよう	a:家計の構造について理解するとともに生活における経済と社会との関わりについて理解を深めること。 b:生涯を見通した生活における経済の管理や計画,リスク管理の考え方について理解を深め,情報の収集・整理が適切にできること。 c:生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について,ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察
3	②　消費生活	①　何をどうやって買う？ ②　賢い消費者になろう	a:消費生活の現状と課題,消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解を深めるとともに,生活情報の収集･整理が適切にできること。 b:消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう,消費者問題や消費者の自立と支援などについて理解するとともに,契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解を深めること。 c:自立した消費者として,生活情報を活用し,適切な意思決定に基づいて行動できるよう考察し,責任ある消費について工夫すること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察
3	3.　環境	①　環境問題を考える ②　私たちにできること	a:生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに,持続可能な社会へ参画することの意義について理解を深めること。 b:持続可能な社会を目指し主体的に行動できるよう,安全で安心な生活と消費及び生活文化について考察し,ライフスタイルを工夫すること。	期末考査 ワークシート	期末考査 ワークシート 提出物	提出物 ふり返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度